



平成27年3月13日

各位

上場会社名 株式会社 ザッパラス
 代表者 代表取締役会長兼社長 川嶋 真理
 (コード番号 3770)
 問合せ先責任者 取締役 管理グループ ゼネラルマネジャー 小林 真人
 (TEL 03-6434-1036)

業績予想の上方修正及び配当予想の修正並びに 特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年6月13日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたします。また、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	0	0	△13	△1.04
今回修正予想(B)	7,730	500	700	60	4.71
増減額(B-A)	230	500	700	73	
増減率(%)	3.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年4月期)	8,155	722	752	375	29.72

修正の理由

1. 業績予想の修正

売上高につきましては、主力のコンテンツ事業においてフィーチャーフォンユーザーの減少が想定よりも少なく、既存の古いサービスが期初の想定よりも好調に推移していることから増加する見込みです。利益面につきましては、上記売上高の増加要因に加え、新規サービスの投入の遅れもありコストが計画を下回って推移していることから、営業利益が増加する見込みです。また、営業外収益(為替差益)の計上により経常利益が増加する見込みです。

2. 特別損失の計上

当社の連結子会社である株式会社ビーバイヤーは自然派化粧品卸売・小売事業を展開しておりますが、近年、同社の主力製品である自然派シャンプー分野において相次ぐ競合の参入により競争が激化しております。かかる事業環境の変化に対応すべく、新商品の投入や主力商品のリニューアル等を実施し、商品力や営業力の強化を図ることで売上高を維持してまいりました。しかしながらこれらの施策によるコストの増加をカバーするまでには至らず、継続的に事業計画を下回って推移する見込みとなっていることから、当初想定収益達成には時間を要すると判断いたしました。その結果、固定資産及びのれんの未償却残高の全額378百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年6月13日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成26年4月期)	—	0.00	—	22.00	22.00

修正の理由

当社ではかねてより株主への利益還元を重要な指標と捉えており、財務体質の強化と積極的な事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を実施していくことを基本方針としております。具体的にはこれまで、連結当

期純利益に対し配当性向30%以上を目処として、内部留保の充実及び事業投資並びに各期の経営成績等を総合的に勘案し配当額を決定してまいりました。そのような中、平成27年4月期につきましては不透明な事業環境を鑑み、期初における配当予想を未定としておりましたが、当期の業績や事業投資の進捗度合い、営業外損益や特別損益の内容を斟酌し1株10円にすることといたしました。

以 上